

## 平成22年度 現代社会の学習（シラバス）

### 1 科目名，単位数，履修学年，履修区分，使用する教科書

科目名	現代社会	単位数	4	履修学年・区分	第1学年
使用する教科書	高等学校 改訂版 新現代社会（第一学習社）				
副教材等					

### 2 学習目標

人間の尊重と科学的な探求の精神に基づいて，広い視野に立って，現代の社会と人間についての理解を深めさせ，現代社会の基本的な問題について主体的に考え公正に判断するとともに自ら人間としてのあり方生き方について考える力を養い，良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。
---

### 3 学習方法

<p>①教科書の写真やグラフを参考に基本事項の確認を行う。</p> <p>②プリントを利用し，重要事項への関心を高める。</p> <p>③具体例を増やし，興味関心を促す。</p> <p>④教科書などの事象についての質問などに，身近な事から考えて答える。</p>
--

### 4 学習計画

学期	月	学習内容（単元名）	学習活動・ねらい	評価のポイント，課題，提出物等
第1学期	4	第1編 現代に生きる私たちの課題 1 環境と私たちの生活	現代社会についての1年間の学習内容を理解する。 地球全体におよぶ環境問題を知り，原因と対策について考え，地球の一員としてなすべき事を理解する。	1年間で学ぶ現代社会の課題について正しく内容が把握できたか。 人間の生活が，地球環境にもたらす課題と，その対策について理解できたか。
	5	2 資源エネルギー問題と私たちの生活	エネルギーの重要性と化石燃料の枯渇問題を知るとともに原子力発電と新エネルギーの開発について学ぶ。 循環型社会を理解する。	人間生活に不可欠のエネルギー問題について理解できたか。 限りある資源の有効利用である循環型社会のについて正しく理解できたか。
	6	第2編 現代の社会と人間としてのあり方生き方 1 現代社会の特質と社会生活の変化	日本の少子高齢化社会の状況を理解する。 国際化社会のなかで，異文化理解と他国を尊重する態度を学ぶ。	少子高齢化の現状と課題について把握できたか。 異文化の理解がなぜ必要かを理解できたか。
	7	2 現代に生きる青年	青年期について学び，自分を見つめ直す機会にできるようにする。	青年期の特質を理解できたか。自分について考えることができたか。
第2学期	9	3 現代の経済社会と私たちの生活	産業構造と企業，政府の経済的役割と金融機関の働き，労働問題など経済のさまざまな仕組みについて学ぶ。	技術革新による産業構造の変化と企業の活動の社会的責任について理解できたか。 政府の役割と金融の仕組みの重要性を理解できたか。また，労働についての諸問題を把握できたか。
	10	4 国際経済の動向と日本の役割	資本主義経済体制について理解する。国際分業と貿易に	資本主義体制について理解できたか。現代経済のグローバル

2 学 期	11		についての諸問題を学ぶ。経済の南北問題の現状を学び、国際協力の重要性を理解する。	化と南北問題の存在、解決のための国際協力の重要性を理解できたか。
	12	5 現代の民主政治と私たちの生活	国家とは何か。法による人権の保障を知る。 日本国憲法の基本原理を学ぶとともに、憲法9条にかかる諸問題について考える。 人権について学ぶ。 国会の権限と内閣の権限および民主化について学ぶ。地方自治の課題について考え、選挙制度のしくみを理解する。	国家と法の支配の関係を理解できたか。日本国憲法と明治憲法の違いを理解できたか。憲法9条の問題点について考えることができたか。 人権について理解できたか。また、国と地方の立法と行政について理解できたか。
3 学 期	1			
	2	6 国際政治の動向と日本の役割	第二次大戦後の国際社会について学ぶ。 国境と領土問題、特に日本の領土問題について理解する。 地域紛争と国連の役割を学ぶ。国際平和と日本の外交について考える。	冷戦とその後の国際情勢を理解できたか。 世界の国境問題と日本の国境問題について理解できたか。 地域紛争を解決するためにどのような努力がなされているかを理解できたか。
	3	7 民主社会の倫理	人間の尊厳と生命の尊重について考える。自由と平等について学ぶ。	生命の尊重について考えることができたか。自由には社会的責任が伴うことを理解できたか。

## 5 学習評価

### (1) 評価の観点及び内容について

以下に示す四つの観点に基づき、学習内容のまとめりごとに評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。

なお、学習計画に示された「評価のポイント」は四つの観点と結び付いた具体的な評価基準と考えます。

評価の観点及び内容	
1 社会的事象への「関心・意欲・態度」	現代のさまざまな事象に対して関心を持ち、意欲的に探求しようとする態度を身につけているか。
2 社会的な「思考・判断」	現代のさまざまな事象やしくみについて問題点を調べ、論理的に考えて判断することができるか。
3 資料活用の技能・表現	資料のなかからの確かな情報を取り出し、発表できる表現力を身につけているか。
4 社会的事象についての知識・理解	現代の社会における基本的なしくみや規則、社会的事象の問題点と解決方法などの知識を身につけ、理解することができたか。

### (2) 「評価の観点」の評価方法について

評価方法\観点	観点1	観点2	観点3	観点4	備 考
学習状況の観察	◎	○	◎	◎	学習活動への参加の態度
提出物	◎	◎	◎	◎	プリントなど
ノート	◎	○	○	○	年間5回提出
定期考査	○	◎	◎	◎	年間5回実施

(◎は、観点の中で特に重視するという意味です。)